



平成 18 年 6 月 1 日

各 位

会 社 名 神 鋼 電 機 株 式 会 社
代表者名 取 締 役 社 長 佐 伯 弘 文
(コード番号 6507 東証 第一部)
問合先 総務人事部 法務・広報グループ長
小 島 茂
(TEL 03(5473)1800)

新中期経営計画「ADVANCE 1000」に関するお知らせ

当社は、2006 年度から 2008 年度までの 3 年間を計画期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を以下のようにお知らせいたします。

1. 新中期経営計画の位置づけ

前中期経営計画は、新生神鋼電機グループとして確固たる企業基盤確立のため『安定収益と借入金圧縮』を目標に株主、顧客、従業員 3 つのステークホルダへの目標を掲げて『NEW SHINKO DENKI 555』としてスタートいたしました。

『555』の意味する、2005 年度売上高経常利益率 5%、配当 5 円、および借入金の圧縮については、概ね目標を達成することができました。

今後も増益基調を継続するためには、更なる売上拡大とそれに伴う利益の拡大を図ることが必要であり、『安定収益体質』を確かなものにして、ステークホルダの皆様には評価いただける企業グループとなることを目指した新たな 3 ヶ年計画を策定いたしました。

2. 新中期経営計画の概要

(1) 2008 年度に目標とする企業像

経済環境が変化しても安定収益を確保し、常に成長し続けて、株主、顧客、取引先、従業員及び、社会全てのステークホルダの皆様には満足いただくことで『一人前の企業グループ』と認められることを目指します。

(2) 基本方針

『一人前の企業グループ』として認めていただくため、利益を伴った成長を実現し、財務体質の強化と株主への安定配当とを同時に達成することで、『飛躍し続ける神鋼電機』を実現することを基本方針とし、新中期経営計画は、連結売上高 1000 億円を目指し、『ADVANCE 1000』としてスタートいたします。

(3) 重点事業戦略

M & A の積極的展開と海外市場、自動車産業、エコ産業への受注拡大を重点事業戦略と位置づけ、既存の電子制御、精密機構をコアとした電子精密技術に、通信・ソフトウェアからなるインテリジェント技術を融合(テクノロジーミックス)することにより、電機メーカーの枠を超えた『電子精密企業体』をより確かなものといいたします。

(4) 目標達成のための経営重要課題

M & Aの積極的展開

事業規模の拡大とともに当社にない経営資源をスピーディーに獲得するためM & Aに積極的に取り組んでいきます。

受注・売上の飛躍的な拡大

)輸出の拡大

2006年4月に設立した海外営業本部により海外市場への拡販を積極的に進め、中国、韓国、台湾を中心とするアジア地域においては、既存の生産拠点やパートナーとの連携を強化し、欧州、米国については販売網の拡大に努めます。また、新製品を積極的に投入していくとともに、UL、CE 規格等の製品規格を着実に取得していきます。

)新製品の創出

新製品については、常に他社の2歩先を見た製品開発を目標に、自動車産業への事業領域の拡大や、既存技術を基盤にした派生製品開発、および製品販売のみならず自社製品を活用した受託ビジネスにもチャレンジしていきます。

極限のコストダウンと生産性向上

)コスト競争力強化のため、海外調達の拡大とともに国内、中国、タイの当社グループ生産拠点および中国、インドネシアの戦略パートナーとの連携で、最適な生産体制を追求していきます。

)製品設計については、部分的なコスト低減から製品全体にわたるトータルでのコストをとらえる設計思考へ転換し、生産、調達の効率化を図ります。

)業務の効率化については、社内IT部門の活用により生産業務、販売業務の更なるIT化に取り組んでいきます。

技術・開発戦略の強化

)技術開発の強化のため、注力技術分野であるアクチュエータ、環境・エネルギー、新素材・デバイス、情報サービス分野への人材投入を積極的に行い、また新技術獲得のため外部機関を活用した先端技術の獲得や、開発パートナーの確保に努めていきます。

)知的財産管理強化のため、重点分野での戦略的な特許出願の推進や、他社特許の定期的な監視の強化に努めます。

企業基盤の強化

)内部統制システムの構築とともにJ-SOX対応の業務システム構築や、ISMS(情報セキュリティ)の取得に取り組んでいきます。

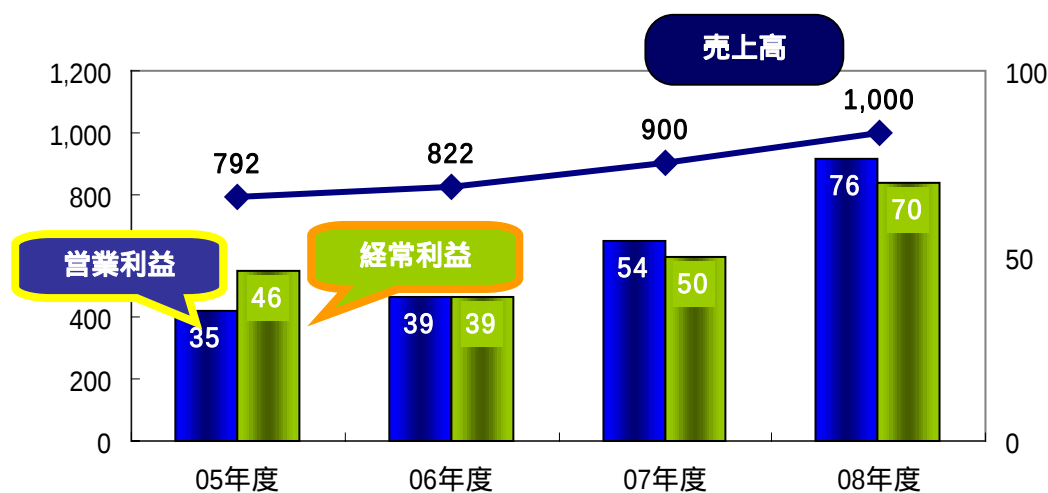
)技能伝承

次世代への技能伝承に向けて、再雇用制度の積極的活用や退職者再雇用に対する処遇制度の改革を進め、また、プロフェッショナル人材の育成のため、高度技能専門職による若手社員の教育プログラムの構築や中途採用拡大のため通年採用を継続して実施していきます。

[数値目標]

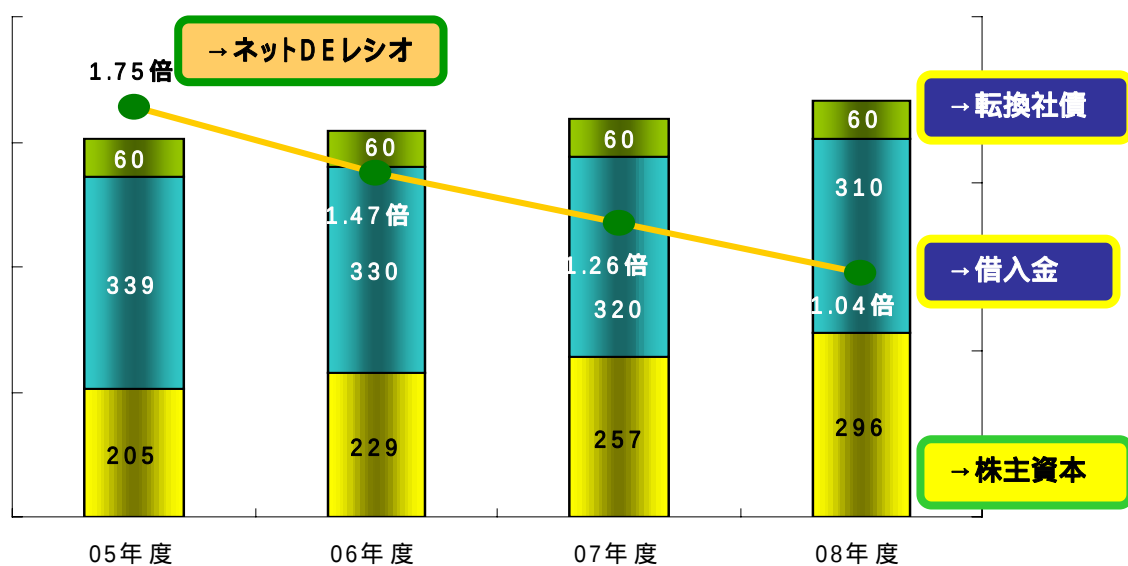
2008 年度 連結売上高 1000 億円 経常利益 70 億円

(単位:億円)



2009 年 3 月末外部負債残高目標 370 億円、ネット DE レシオ 1 倍

(単位:億円)



本資料の記載の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報や将来に対するさまざまな仮定に基づいた事項であり、上掲の当社経営計画の実現を保証するものではありません。

以 上